

磐城時報

石城郡石城町平町四丁目
編輯 石城町平町四丁目
印刷 石城町平町四丁目
電話 石城町平町四丁目
代售 石城町平町四丁目
廣告料 石城町平町四丁目
印刷 石城町平町四丁目
電話 石城町平町四丁目
代售 石城町平町四丁目
廣告料 石城町平町四丁目

常磐炭礦の運命を左右する

鐵道運賃値下げ問題

江木鐵相の有望な回答 更に關係者が上京

石城郡の生命たる炭礦は打ち續行つた處

石炭運賃のみの値下げは容易く不況に更に唯一の賣口たる鐵道省に對する納炭は來る四月の更改期より一割以上の値下げが斷行されるので一ヶ年の減收六千萬圓以上になり到底維持困難に陥る事とされ警報、入山、古河、福島の大炭礦を初め大小炭礦が之が値下緩和に努めると同時に一方この缺損補填の爲石炭の鐵道運賃値下げ運動を行ひつゝあつた、運賃値下運動には石城町村長會が主となり各團體が幾度か上京江木鐵相に迫りつゝ、期し得らるゝとされ近々關係者は再三江木鐵相にひき詰り談判を由である。

石炭運賃のみの値下げは容易くないから之が便法として運賃制戻の方法がある
と言ふ極めて含みのある江木鐵相の回答に接したので比佐代議士は直ちに之の旨關係方面に打電したが、各炭礦はこの便法が實現せば事實上運賃値下問題が解決したものとされ居り之によつて汽船運賃の低廉の爲市場に於て壓迫を感じてゐる九州や北海道炭と競争し得る結果になしてゐるので小川郷火防組合では十六日組合長田久七郎、副組合長松本彌助等組合員を督勵し改修した。

平町に着する筈である。
消防組で
寄附募集協議
平消防組では別項の如く自動車ポンプを購入する事になつたが費用六千五百圓のうち三千五百圓は町費、千五百圓は消防組の積立金より支出し残り千五百圓を有志の寄附に仰ぐ事とし十九日午後三時から平警察署内に幹部會議を開き寄附募集方法について協議した。

小川郷火防組 道路改修

石城郡小川郷前村から大字高萩字上代までの道路は破損の程度甚だしく人畜の交通に支障を來してゐるので小川郷火防組合では十六日組合長田久七郎、副組合長松本彌助等組合員を督勵し改修した。

御殿役員選舉

石城郡内郷村大字御殿では區長その他を左の如く決定した

御殿夜警廢止

石城郡内郷村御殿では一月初旬から毎夜夜警を行つてゐたが十五日等生産婆科佐藤よし(内郷村)看を閉じた。

職業戦線を目ざして 築立つ女性

平町南町平産婆看護婦學校卒業生職業科渡邊フナの名に賞品を授式は十九日午後二時から同校講堂で職員を代表し根本莊堂で舉行、校長清野キヨ女史が次郎氏の告辭、校長清野キヨ女史卒業生佐藤よし、看護科史の告辭、來賓伏見平町長、櫻三十八名に卒業證書を授與し優村平署長の祝辭あり盛會裡に式等生産婆科佐藤よし(内郷村)看を閉じた。

動物園公開

四倉町眞會を催はす

軍事活動寫眞

石城郡好間村在郷軍人分會では帝國軍人會館建立基金に六十五圓を寄附するため左の日割で活動寫眞を公開する

山神祭役員

石城郡小田炭礦山神祭は十五日十六日の二日間執行する筈で總代人を左の如く決定した

四倉水産卒業式

四倉水産商業學校の第三回卒業式は十九日午前十時より舉行成績優等生及び三ヶ年間無缺席生及び卒業生氏名左の如し

資本家の壓迫で 爭議團苦境に立つ 漁業組合で貸船者を除名し 更に魚を買はぬ申合せ

茨城縣大津町の爭議漁夫六十余名は石城郡四倉町に來り社民黨警署支部の斡旋で同町鈴木運太郎(假名)外三名から三十馬力二十五噸の漁船四隻を借り受け過般來より漁業に従事したが、一方同町の漁業組合では大津町漁業組合との關係で徒らに手を拱いて傍觀するわけに行かず兎に角これが善後策を講じた結果等議團員に船を貸し與へた前記鈴木某外二名は組合で除名處分に附し、なほ組合側では漁獲した魚は全然買はぬといふに一決しその旨代表者なる社民黨警署支部部長松本清之丞氏へ通告したの對策を講じてゐるが成行は注目されてゐる。

小田炭礦の 山神祭役員

石城郡小田炭礦山神祭は十五日十六日の二日間執行する筈で總代人を左の如く決定した

▲長橋組 松山熊次郎、一條福四郎
▲吉江組 北村吉治、安齋正三
▲佐藤組 大和田藤枝、佐藤秋太郎
▲松谷組 鈴木清三郎
▲神谷組 鈴木清三郎
▲會社 矢内矢一郎、猪狩貞江

軍事活動寫眞

石城郡好間村在郷軍人分會では帝國軍人會館建立基金に六十五圓を寄附するため左の日割で活動寫眞を公開する

山神祭役員

石城郡小田炭礦山神祭は十五日十六日の二日間執行する筈で總代人を左の如く決定した

四倉水産卒業式

四倉水産商業學校の第三回卒業式は十九日午前十時より舉行成績優等生及び三ヶ年間無缺席生及び卒業生氏名左の如し

失業を口實とする 押し賣り人激増

昨今平町内に失業を種に各戸毎の栽培が盛んに行はれ、今年こ憐れを乞ひ「私は北海道からのものは良好なものを多く生産して失業者ですが旅費に窮して國に幾分でも經濟の圓滑を計るべく歸れないから品物を買つて下さ大意氣込である、目下農閑期に「誠しやかに風呂敷包みに際し茄子、胡瓜、南瓜、トマトを包んだ新聞紙様のものを突き出等」の温床組立て踏込みの最中で金品を強要するが、家人から石城農事試験場でも一般にこれ拒まれると「買つてくれないのを普及すべく特種の研究してゐる」と言ふなど、ばか悪罵る、その方法は、温床の大きさは幅四尺、長十二尺を適度とし既肥の踏込みは百五十貫乃至二百貫程度としてセメントでかこみを造り外氣を絶對遮断するもので播種期は來る二十以後が最も適してゐると。

大張込みの 野菜栽培

石城地方各農家は各大小炭礦盤出箱菩提院に於て佛式により盤城七濱を控へてゐるだけ野菜類

白土氏逝く

平町二丁目白土四郎氏は永らく病氣中の處十九日午前一時三十分死去し九時二十一日午後二時自宅に於て佛式により盤城七濱を控へてゐるだけ野菜類

白土氏逝く

平町二丁目白土四郎氏は永らく病氣中の處十九日午前一時三十分死去し九時二十一日午後二時自宅に於て佛式により盤城七濱を控へてゐるだけ野菜類

白土氏逝く

平町二丁目白土四郎氏は永らく病氣中の處十九日午前一時三十分死去し九時二十一日午後二時自宅に於て佛式により盤城七濱を控へてゐるだけ野菜類

白土氏逝く

平町二丁目白土四郎氏は永らく病氣中の處十九日午前一時三十分死去し九時二十一日午後二時自宅に於て佛式により盤城七濱を控へてゐるだけ野菜類

白土氏逝く

平町二丁目白土四郎氏は永らく病氣中の處十九日午前一時三十分死去し九時二十一日午後二時自宅に於て佛式により盤城七濱を控へてゐるだけ野菜類

白土氏逝く

平町二丁目白土四郎氏は永らく病氣中の處十九日午前一時三十分死去し九時二十一日午後二時自宅に於て佛式により盤城七濱を控へてゐるだけ野菜類

お顔の クリーニング屋さん 白色く ニキビ、ソバカスをとる 新治療剤エスゾール キングの愛読者なら御存じてせうあの評判を不思議と思ふ程よくきく薬。 つけぬ三日前と三日後とでさいびツクリするんだもの、十日も十五日もつけたらアラツ……ご人違へする位へは不思議でない。 さいふでそんなによくきく薬はきけんでないかご心配する方があるでせうが、きけんだつたり、高かつたりしては何にもならない。 エスゾールは世界的の美顔料です。 化粧水と同じ様に一日二度朝夕つけて頂けばそれでよいのです。 そしてお値段は約一ヶ月分僅か一圓です。 製薬所は 三陽製薬株式会社 販賣所は 各 薬 店 講談社代理部 品切の折は 福島縣久之濱町江之網 新妻治郎

産婆、看護婦生徒募集 一、今や入學の好時期なり 來りて成績優秀なる學校に入學せられよ 一、申込 四月八日 平南町 電話三〇七番 平産婆看護婦學校 校長 清野キヨ

宣傳中半額割引 明日とゆわす今すぐ電六八〇番へ パーレット安全剃刀 定額金一圓八十錢 自動研皮砥付 半額割引 金 九 十 錢 一枚の刃で永久に使用出来る。 バリカン、剃刀は……土橋へ 詰かえボマード、クリーム、フケ取り香水は……芳香園 白衣と鏡……大小取揃へ有る理髪器具店へ



新特案特許 五二二二二 一五二二二 一五二二二 一五二二二 一五二二二 一五二二二

高級社員招聘 縣下樞要地の監督所長に任用す ◎外務社員數名募集 成績に依り最初より俸給手當並に交際費を支給し 無經驗者は見習員として便宜採用す 入社希望の方は履歴書持参の上、面談詳細を決定す 平町字白銀町十番地 國光生命保險會社平出張所 電話六百五十番

炭も。揮發油も。電氣も使はず ポカ／＼温い 入替燃料(四十日分) 最新化學の生んだ理想的保温器 火なし あん 特許 文化暖爐 定價(一組)(材料付三圓) ▼一般家庭の保温用(殊に小兒、老人、病人用) ▼病院にはベットの保温用 ▼自動車にはクッションの保温用に ▼旅館等には蒲團の保温用 ▼事務所に椅子の保温用 ▼麻雀俱樂部等には座布團の保温用に……安全と經濟を兼ねた時代の必需品……▲

度量衡計量器 吸入酸素器 關内藥局 電話四〇番 滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる藥酒「栗守酒」 朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は睡眠の助力 栗守酒特約店 大平屋藥店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話六二二) 斷然賞讃を博しつゝ、ある 實用白毛染 八雲 一瓶二五錢 一手販賣店 山野邊藥局

謹啓父四郎儀永らく病氣の處養生 不相叶本日午前一時三十分死去仕 候間此段御通知申上候 葬送の儀は來る二十一日午後二時自宅出棺菩提院に於て佛式相替み申候 昭和六年三月十九日 石城郡平町二丁目 白土謙次郎

外科 內臟外科 整形外科 醫學士松永憲一 外科一般 婦人科 院長 木村寅次郎 平町字新川町 木村病院 電話一六四番

耳鼻咽喉科 應入院 合津醫院 電話五五九番

外科 一般外科 內臟外科 性病科 X光線科 入院隨意(自炊の便あり) 元赤心堂病院跡 安齊外科醫院 電話四七五